

【ONE FOR ALL】

爆発レポート

アクセス爆発の秘伝書改

### 【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。

できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。

(無料) <http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◆著作権について 当レポートは、著作権法で保護されている著作物です。

使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

◇レポートの著作権は、作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。

◇本レポートの一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

### ◆使用許諾契約書

本契約は、レポートダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と作者(以下、乙とする)との間で合意した契約です。本レポートを甲が受けとることで、甲はこの契約は成立します。

第1条(目的)本契約は、本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条(第三者への公開の禁止)本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第3条(損害賠償)甲が本契約の第2条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数と金壹萬円を乗じた価格の10倍の金額を支払うものとします。

第4条(その他) 当レポートに沿って実行、期待通りの効果を得ることができず、万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。

# もくじ

- ①ほとんどの人がギャンブル的なブログを運営している？
- ②アクセス爆発が起きる状態
- ③アクセス爆発を起こすには6つのステップがある

# ほとんどの人がギャンブル的な ブログを運営している？

■ このマニュアルでは、僕やコンサル生が実際に起こした

『アクセス爆発』を解説していきたいと思います。

最初にはっきりと言っておきますが、

僕はあなたに、ただ答えを教えるわけではありません。

✔ なぜ、アキラはこのようなタイトルをつけたのか

✔ なぜ、アキラがこのようなネタを選んだのか

これをきちんと理解してもらうのが、

このマニュアルの目的です。

なので、

「アクセスが集まらない！」

「ライバルが多いネタしか見つけられない」

「ネタ選定に時間がかかってしまう！」

「タイトルづけがうまくいかない」

という悩みを抱えている人は、安心してください。

このマニュアルでは、『アクセス爆発を起こす本質』。

つまり、

**アクセス爆発を起こすための正しい思考（＝手順）**

をあなたにお伝えしていきます。

そのの、インプットとアウトプットを繰り返すだけで、  
あなたも、僕や僕のコンサル生のように、  
**ライバルと圧倒的な差をつけて稼げるようになります。**

■ 例えば、僕のコンサル生の現役大学生の方は、  
最初の頃は稼ぐことができていなかったそうですが、  
『アクセス爆発を起こすための正しい思考』をインストールして  
実践した結果、  
たった150記事程度で月収10万円を稼がれていきました。  
  
他にも、全くの初心者からのスタートだったコンサル生も、  
開始3ヶ月目で10万後稼ぐことができたり。

3年近くブログに取り組んで、最高月収1万円の主婦が、  
コンサル2ヶ月目で10万円稼がれたり。

■ 先ほどもお伝えしましたが、

アクセス爆発を起こすためには、

**『アクセス爆発を起こす正しい思考（＝手順）』を**

身につけることが大事なんです。

では、なぜ爆発ネタの『答え』ではなく、

『思考』が大事なのか・・・？

それは、

**一度爆発が起きたネタと同じネタは、**

**2度と現れないからです。**

テスト勉強で解いた問題と、

テストで出題される問題が全く同じということはありませんよね？

国語でも、数学でも、物理でも出題方法は必ず変わります。

だけど、あなたは出題方法が違うとしても、

それを解いてきましたよね？

それは、あなたが答えを覚えたのではなく、

**その答えを解く方法を勉強したから、**

その問題を解くことができたんです。



「学校の勉強なんて、社会に出たら役に立たないよ」

そう豪語していた大人もいたでしょう。

そう叫んでいた友達もいたでしょう。

だけど、本質的なことと言えば、根本的なことと言えば、

学校で勉強するということは、

**『答えを解決する思考』を身につけるために行うんです。**

もし、あなたも学校の勉強は役に立たないと考えているなら、

今、それが役に立つ時がきたんです。

## 『答えを解決する思考』

＝本番で類似問題が出た時に確実に正解できるように  
解法を頭に入れたり、考え方を身につける。

この能力はすでにマスターしているので、

あとはこの本質に沿って、勉強するだけですよね♪

■ なら、トレンドブログでの『本質』に沿った勉強法とは

具体的にどんなことなのか？

多くの人は、

- ・ 手当たり次第に記事を書く
- ・ 記事を書けば爆発すると思ってる
- ・ 稼げた人のキーワード集と全く同じタイトルで記事を書く

という感じで、本質を無視した作業をしている人が目立ちます。  
厳しいことを言うようですが、これは

**ビジネスではなく、ギャンブルに近い行為です。**

ズバッ

歴史のテストで、

全ての解答欄に『織田信長』と書くぐらいの愚行です。

もちろん、正解するときもありますが、それは1問だけ。

つまり、それ以外は全てハズレ。

■ だからこそ大事なのは、答えを知ることではなく、

答えを解く方法を知ること。

それはつまり、

**・爆発を起こせるネタを見逃さずに発見すること**

## ・アクセスの集まる正しいタイトルづけの能力を身につけること

が必要ということなんです。

このマニュアルは、

ただ爆発を起こした事例を見てもらうのではなく、あなたに

**アクセス爆発を起こす思考をインストールしてもらう**

のを目的に作成しました。

答えだけを覚えるのではなく、

アキラの思考・考え方をインストールする意識で、

この先を読み進めてくださいね♪

ぜひ、

解答欄に『織田信長』以外の答えを導き出せるようになりましょう！

# アクセス爆発が起きる状態

■ アクセス爆発を起こすネタを見逃さないためにも、

まずそのネタが「どんな状態」にあるのかを理解する

必要があります。

これを理解することができると、

偶然起きていた爆発を狙って起こすことができるようになるので、

まずは確実に**アクセス爆発が起きる状態**を理解しましょう。

■ アクセスの爆発は、需要と供給の関係で決まっています。

この関係は大きく分けて、4つあるので見ていきましょう。

## 需要 > > > 供給

最もアクセスが集まりやすい状態。

多いときは1記事で『10000PV/日』以上集めることができる。

## 需要 > 供給

比較的アクセスを集めやすい状態。

10000PV/日の爆発は起こしづらい。

## 需要＝供給

検索需要と記事の供給が均衡している状態

キーワード選び次第では、アクセスを集めることができる。

## 需要＜供給

すでに多くのトレンドブログ実践者が記事をアップしている状態。

狙ったキーワードでも上位表示することは難しい。

■ 最もアクセスの集まりやすい状態が

『需要>>>供給』の状態ですが、

さて、その状態というのは一体どういった時なのでしょう。

まず、アクセス爆発を起こしやすいネタとして

『昨日まで無名だったけど、

今日話題になった人・モノ・事』

ということをすでにお伝えしてありますね。

このネタは特に『需要>>>供給』という関係が生まれやすいです。

以前、『ブルゾンちえみ』という芸人が『おもしろ荘』という番組に出演して以来、大きくメディアに注目されるようになりました。

これは『昨日まで無名だったけど、今日話題になった人・モノ・事』



に当てはまるため、爆発の可能性を秘めています。

この時、どういう風に需要と供給の関係が変化していくのかを  
確認して見ましょう。

※細かいことを含めると、ほかにも色々と変化する理由がありますが、**一つは時間の流れとともに変化していくということ**を覚えて  
おいてください。

■ 今回はわかりやすいように、

ブルゾンちえみさんが深夜 1 時ちょうどに出演したという  
設定にしました。

### 深夜 12時30分『需要<供給』

おもしろ荘の放送が開始。  
まだブルゾンちえみさんについての記事は  
ほとんど書かれていない。

### 深夜 1時50分『需要>供給』

ブルゾンちえみさんが優勝。  
少しずつ検索需要も増え、  
さらにリアルタイム視聴者が記事を書き始める頃。

### 朝 5時『需要>>>供給』

ニュースサイトにブルゾンちえみさんの記事が掲載される。  
**検索需要が一気に増えて**、多くの人がGoogleやYahooの検索窓  
に「ブルゾンちえみ」と打ち込むが、それに応える記事が足りて  
ない。

### 朝 6時～『需要>供給』～『需要=供給』

ニュースで見た人が記事を書き始める。  
徐々に供給も増えていく。

### 翌日『需要<供給』

検索需要も減り、  
ほとんどのキーワードで記事を書かれている。

■ 上記のように時間の経過とともに、アクセス爆発が起きやすい状態となります。なので、**赤文字**の時間帯に

## 【ブルゾンちえみの経歴やwiki風プロフィール・・・】

みたいなありきたりなタイトルで記事を書いても、上位表示しやすくアクセス爆発を起こす確率も高くなります。

しかし、時間が経過すると、ライバルも増えてしまい、初期ブログでは上位表示しづらくなり、どんどんアクセス爆発を起こしづらい状態になってしまいます。

なので、

**検索需要があるのに、供給が少ない時は、**

**初期ブログでも上位表示しやすいので、**

**できるだけ『需要>>>供給』の時に書けるようにしましょう！**

# アクセス爆発を起こす6ステップ

■ メルマガ1通目のプレゼントでもマニュアル内に

『爆発を起こす秘伝書』をお渡ししていますが、本マニュアルは、

**コンサル生用**にさらにわかりやすく、さらに濃い内容でお送りしています。

だからこそ『爆発を起こす秘伝書改』です。

これから、僕からの添削やチャットを受けられると思いますが、

このマニュアルを読み、ある程度の事前知識を身につけるだけでも、

より濃いインプットができますよ♪

■ さて、アクセス爆発を起こす正しい手順はこれから解説する

6つのステップに分かれています。

①ネタが新鮮であること

②ネタに話題性があること

③ネタに気になることがあるか

④ライバルが少ないこと

⑤どういうキーワードの組み合わせで検索されるか

⑥タイトルづけの基本

最初のうちはひとつひとつ当てはめながら、

ネタを選んで行くことになりますが、

慣れてきたら、頭の中で勝手にステップを踏むことができるようになるので、まずはとことんの記事を書いて慣れて行きましょう！

■ 『需要>>>供給』というバランスになった時、アクセスの爆発  
が起きるというお話をしました。これから説明する6つのステップ  
は、そのロジックをより詳細に解説したものになります。

これらのステップのうち、

①～⑥のステップが全て揃う

場合は、『爆発～大爆発』が起きます。

※目安：10000PV～以上

①は当てはまらないけど、②～⑥のステップが揃う

場合は、良くて『爆発』、悪くて『プチ爆発』が起きます。

※目安：3000PV～10000PV以上

②は当てはまらないけど、①③④⑤⑥のステップが揃う

場合は、良くて『爆発』、悪くて『プチ爆発』。

※目安：3000PV～10000PV以上

①ネタが新鮮であること



②ネタに話題性があること



③ネタに気になることがあるか



④ライバルが少ないこと



⑤どういうキーワードの組み合わせで検索されるか



⑥タイトルづけの基本



大爆発



①ネタが新鮮であること

②ネタに話題性があること



③ネタに気になることがあるか



④ライバルが少ないこと



⑤どういうキーワードの組み合わせで検索されるか



⑥タイトルづけの基本



爆発

とん!!



■ ①～⑥のステップのイメージとしてはこんな感じです。

つまり、③～⑥のステップは（大）爆発を起こすためには  
必須条件であり、

①と②の両方が揃えば『大爆発』

①もしくは②のいずれかのステップを踏めれば『爆発』

を起こすことができるというわけですね。

それでは、①～⑥のステップを解説していきます。

# ①ネタが新鮮であること

■ 特に、『ネタが新鮮であること』は重要です。

②～⑥全て揃っていても、そのネタが3～4時間も経っていた場合、

ライバルが増え過ぎてしまっているため、

爆発を起こすことが難しくなってしまいます。

逆に、そのネタを見つけてすぐに記事を仕上げることでさえできれば、

初期ブログであれ、10000PVどころか、

30000PV、50000PVとアクセスを集めることだって可能です。

なので、最新ニュースをキャッチする方法や手段を、

自分の中でも研究するといいですよ♪

■ 多くのトレンドブロガーは、記事を書こうと思った時に、

『Yahoo!ニュース』や『livedoorニュース』などを見て、

ネタを探していますが、それだと、そのネタの新鮮味が失われてい

ることがほとんどだと思います。

トレンドネタは探すのもいいですが、

**教えてもらうのが一番簡単です。**

「は？誰に教えてもらうんだよ！！」

って感じで怒られそうですね笑

安心してください。

教えてもらう方法があります。

しかも、誰でも手軽に教えてもらうことが出来るんです。

その方法というのが

- ・ スマホの『ニュースアプリ』をインストール
- ・ ツイッターの『ニュースアカウント』のフォロー

これら2つの通知機能をONにすることです

この通知機能は、最新のニュース、しかも話題になりそうなニュースを掲載されると同時にスマホに通知をしてくれます。

なら、**通知が来たタイミングで記事を書いてしまえばいいんです！**

それに現代社会は、ほとんどの人がスマホを持っています。

つまり、ニュースを見るのもスマホだし、

気になったことがあったらスマホで検索します。

だから、僕らもスマホからネタを持ってくればいいだけなんです。

■ これら2つが完了すると、

最新ニュースが更新されるたびにスマホに新着情報が届きます。

## ★ インストールしておきたい『ニュースアプリ』

- ・ ヤフーニュース
- ・ ラインニュース
- ・ ニュースダイジェスト
- ・ ライブドアニュース
- ・ ツイッター

## ★ フォローすべきツイッターアカウント

- ・ ライブドアニュース [@livedoornews](https://twitter.com/livedoornews)
- ・ J-CASTニュース [@jcast\\_news](https://twitter.com/jcast_news)
- ・ 毎日新聞ニュース速報 [@mainichijpnews](https://twitter.com/mainichijpnews)
- ・ モデルプレス [@modelpress](https://twitter.com/modelpress)

- ・ LINE NEWS[@news\\_line\\_me](https://news.line.me)
- ・ 産経ニュース[@Sankei\\_news](https://Sankei_news)
- ・ スポーツナビ[@sportsnavi](https://sportsnavi)
- ・ 日刊スポーツ[@nikkansports](https://nikkansports)
- ・ NHKニュース[@nhk\\_news](https://nhk_news)

■ こちらの『通知』機能を活用して、

いち早く最新情報をチェックできるようにしましょう！

■ 新鮮なネタが転がっているのは、ニュースアプリや

ツイッターだけではなく。

テレビの中にもネタはあります。

テレビはリアルタイムで放送されているので、

テレビ内の出来事が話題になるのも、放送が終了した後。

つまり、テレビ放送中の内容はニュースサイトに掲載される前に、

記事を書くことが出来るので、『新鮮度』は桁違いです。

なので初期ブログの段階では、特にテレビネタを狙っていくことを

オススメしています♪

## ②ネタに話題性があること

■ 旬なネタをいち早く入手する工夫をしても、

そのネタに『**話題性**』がなければ大きなアクセスを集めることは難しいです。

ただ、①はギリギリ逃したとしても、話題性があれば、

**キーワード次第では爆発の可能性はあります。**

さて、話題性のあるネタの基準とはなんでしょうか。

これはある程度、ブロガーそれぞれの『**慣れ**』や『**勘**』によるところが大きいです。

その人それぞれの実戦経験や事前の情報量などによって、

どうしても『**気づき**』のレベルが変わってきます。



その『慣れ』や『勘』、『気づき』のレベルを上げるためには、  
それこそ、僕の添削を受けるうちに徐々に身につけて行きま  
しょう。

ただ、『慣れ』や『勘』を身につけるまでに、

『気づき』のレベルを上げたり、話題性の有無を確認する方法は  
あります。

- ・ Yahoo!ニュースやlivedoorニュースならアクセスランキング入り
- ・ ツイッターのトレンド入り

これに掲載されている場合は、そのネタには間違いなく『話題性』  
があります。

しかし、その瞬間にはすでにライバルが群がっているのは、  
想像に難くないでしょう。

でも、これを1日1回以上は確認していれば、

話題になりやすいネタの傾向をつかめるようになります。

■ 『話題性』を見極めるためには、結局『相手目線』が重要です

が、これはブログを運営する上で一番難しい部分だと思います。

なので、これから僕との添削やチャットを通して、

少しずつインプットして行きましょう！！

### ③ネタに気になることがあるか

■ ①～⑥のステップで、一番難しいのがこのステップだと思います

新鮮度や話題性は、そのネタを見れば大体わかりますが、

「気になる」は完全に『相手目線』なので、それを理解していないと、まず見つけれません。

だからこそ、僕はメルマガやこう言ったマニュアルで

『相手目線で考えましょう』と口を酸っぱくしてお伝えしているんです。

■ 「気になること」があるということは、

それは『需要』があることと同じ。

しかし、今回お伝えする『需要』の話と、

先ほどの『話題性』は、必ずしもイコールではないということを

あらかじめ理解しておいてください。

### 『話題性』・・・

- ・世間から注目される内容であること

「マジか・・・嘘だろ・・・」

### 『需要』・・・

- ・「気になる!」「知りたい!」など、不明点があること

「何それ? 本当かな? どういうこと? それってつまり?」

つまり、話題性があっても、

需要がなければ爆発を起こすことはできないということなので、

この2つが合わさることで、

初めて爆発を起こすきっかけになるんです♪

■ 多くの人は、そのニュースに疑問があったとしても、

勝手に自分の知識や情報で疑問点を補完してしまうため、

『どうして?』に気づきにくい人が結構います。

なので、普段あなたがスルーしてきているネタも、

世間の人たちがどのように感じてるのか、何を気にするのか、

『客観的な視点』でニュースを見ることで、

ライバルが気づくことのできない爆発ポイントを

自分だけが見つけられることができますよ！

## ④ライバルがいるかどうか

■ 話題性もあって需要もあって、

「これなら間違いなくアクセスを集めることができる！！！」

そう感じた時、次に行って欲しいのが『ライバルチェック』

『狙って爆発を起こす』ことを目標としていますので、

そのためには『ライバルチェック』は必ず必要になってきます。

- ・『話題性』をチェック！
- ・『需要』をチェック！

それに見合った『キーワード』を選定していきます。

ライバルチェックをしてネット上にあなたと同じ視点の

記事が存在するかどうかの確認！

ここで、

記事を書くことを躊躇ってしまうほどのライバルがいた場合は、

上位表示されている記事を参考に、

- ・ キーワードの言い回しを変えてみる
- ・ 他の連想キーワードを取り入れる
- ・ 狙ったキーワードの順番を入れ替える

という風にライバルを回避できるキーワードを考えます。

『**キーワードの言い回しを変えてみる**』というのは、

例えば、

『ONE PIECE』を『ワンピース』にしたり、

『火災』を『火事』にしたり、

『ドラゴンクエスト』を『ドラクエ（略称）』

にしたりとかです。

■ 他にも、

『あえて間違えたキーワードを使う』 ことも一つの手です。

例えば、『ビッグマック』を『ビクマック』にしたり、

『齋藤』を『斎藤』にしたり。

こういったやり方で、

ライバルと差別化をしてみるのも一つの戦略ですよ♪

■ 「ライバルがいるから記事を書かない」

ではなく、

「どうすればライバルと差別化ができるだろうか？」

ということを常に意識して、とにかく記事を投稿すること！！

記事は書かなければ爆発しないので♪

それが新鮮なネタであればなおさら迷わず、スピード勝負で、

多少ライバルがいても速攻記事を書くことを忘れないでください  
ね！



## ⑤ どういうキーワードの 組み合わせで検索されるか

■ 『話題性』 も 『需要』 もある。

そして、ライバルもいない。

だけど、キーワード選び、タイトルづけを間違えていたら、  
アクセスは集まってきません。

せっかくのチャンスも最後の最後で、逃したくはないので  
しっかりとキーワード選び、  
タイトルづけの基本を身につけましょう！

■ まず、キーワード選びに関しては、

検索されるキーワードの組み合わせを考えて行きます。

例えば、

イッテQの宮川大輔さんの人気祭り企画の中の『ラオス祭り』  
がやらせだということが話題になりました。

このニュースは結構大きくなり、最終的には一時祭り企画中止に  
まで発展していましたね。

- ①『ネタに新鮮である事』を前提とし、
- ②『ネタに話題性があること』はクリア。

そして、③『ネタに気になることがあるか』を考えます。

わかっている事、明らかになっている事は検索されません。

それでは、このニュースで気になる事はなんでしょう？

- ・他の祭り企画もやらせなんじゃないか？
- ・宮川大輔が降板してしまうのか？
- ・打ち切りの可能性はあるのだろうか？

僕の場合は以上を挙げることができました。

ここから、検索されるキーワードに変換して行きます。

『イッテQ やらせ 打ち切り』

『イッテQ 宮川 降板』

『イッテQ ○○祭り やらせ』

これがこのニュースで検索されるキーワードの組み合わせになります。

間違っても

【イッテQ ラオス祭り やらせ】

にはしないでくださいね。

## ⑥タイトルづけの基本

■ タイトルのつけ方にはいくつかのルールがあるので、

記事を書きながら徐々にコツをつかんで行きましょう。

そのルールというのがこの3つ。

I.メインキーワードは先頭に

II.タイトルは31文字以内

III.タイトルは自然な文章にしよう

それぞれ解説して行きます。

## I.メインキーワードは先頭に

メインキーワードというのは、その話題を集めている、  
人名やモノ、事などです。

（宮川大輔とかネックレスとか関東大震災とか）

狙っているキーワードは一番左に置くことを覚えておきましょう。

## II.タイトルは31文字以内

タイトルの長さは31文字以内に収めましょう。

GoogleやYahooの検索結果にタイトルが表示されるのですが、

32文字目以降は検索エンジンに入りきりません。

見栄えも悪くなるし、

32文字以降はキーワードとして認識されないので、

きちんと31文字以内に収めましょう！

### Ⅲ.タイトルは自然な文章にしよう

■ 文字数は31文字以内となるように多くのキーワードを使用した方がいいのは事実ですが、

不自然な文章になるような形で詰め込むのは良くないのです。

【タイトル】

『宮川大輔の高校は？中学は？身長は？体重は？家族は？ギャラは？』

気持ち悪いタイトルですよ。

タイトルの中に一つでも多くのキーワードを

入れた方がいいと言われたから、

素直にたくさん入れてくれた心構えは素晴らしいです。

しかし、

こういった不自然なタイトルだと上位表示ができたとしても、

綺麗な日本語ではないのでクリックされる可能性が低いです。

それに、**不自然なタイトルはGoogle先生も嫌うので、  
悪質なコンテンツだと判断され、ペナルティの対象**  
になってしまいます。

なので、タイトルはわかりやすくまとめるようにしましょう。

■ さらに意識してほしいポイントは、

**『。』『、』で区切らずに『!』や『?』で区切る**  
ということです。

【タイトル】

『宮川大輔の出身高校と中学はどこ？プロフィールやギャラを紹介!』

『、』 『。』 で区切ると機械的すぎます。

『！』 『？』 で区切る方が、インパクトがあるため、

多くのユーザーから興味を引くことができます。

■ これら6つのステップは、

『【ONE FOR ALL】初期ブログの正しい戦略』にて解説した、

### 『ステップ1』

ネタ元のニュース記事やテレビを見ている時、**世間の人**が気になることは何だろうか？

### 『ステップ2』

**世間の人**はどういうキーワードの組み合わせで、  
GoogleやYahooの検索窓に入力するのだろうか？

は、抽象的な説明だったので、

今回のマニュアルで、より具体的な解説をさせていただきました。



■ この6つを抑えて、

これからトレンドブログに挑戦していくと、必ずアクセス爆発を  
起こすことが可能になります。

さて、次のマニュアルからは、

ざわざわ

このマニュアルで解説したことを踏まえて、

爆発を起こすための例題を解説して行きます。

ざわざわ

ざわざわ

作成者：アキラ

連絡先：[info@akira-ogura.com](mailto:info@akira-ogura.com)

公式ブログ：<http://akira-ogura.com>

メルマガ：[freedomLIFE！資産ブログ構築戦略！](#)